

～「今、あなたに伝えたい・・・名古屋国道」～



平成29年 3月 3日

国土交通省 中部地方整備局
名古屋国道事務所



広小路伏見交差点の新たなにぎわい空間の実現に向けて

1. 概要

国道19号広小路伏見交差点にぎわいの創出ワークショップ「以下（WS）」は、国道19号広小路伏見交差点の交通安全対策の交差点改良に合わせ、御園座の再開発や納屋橋活性化プロジェクトなど、沿道の開発・構想と連携し、にぎわいの創出・地域の活性化に必要な取り組みや価値（歩道のたまり空間、道路景観、歩行者の回遊性等）の創出の可能性と併せて検討することを目的として平成28年6月1日に設立しました。

昨年12月9日に第2回WSを開催し、国道19号広小路伏見交差点の交通安全対策に向けた交差点のコンパクト化及び自転車通行空間の改良計画、通勤時間帯における地下鉄利用者の道路利用上の課題等について意見交換を行ったところです。

このたび、前回WSの意見を踏まえ以下のとおり第3回WSを開催しますのでお知らせ致します。

2. 日時 平成29年3月9日（木）10:00～

3. 場所 サテライト名古屋 会議室（別添資料-3を参照）

4. 議事（案） ①広小路伏見交差点コンパクト化後の歩道空間活用について
②地下鉄利用者の道路利用上の課題への対応案について
③御園座周辺の道路整備のあり方について

5. 資料 WS検討箇所図 別添資料-1
WS会場案内図 別添資料-2
取材登録書 別添資料-3
WSメンバー表 別添資料-4
設立趣意書 別添資料-5

6. 解禁 指定無し

7. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

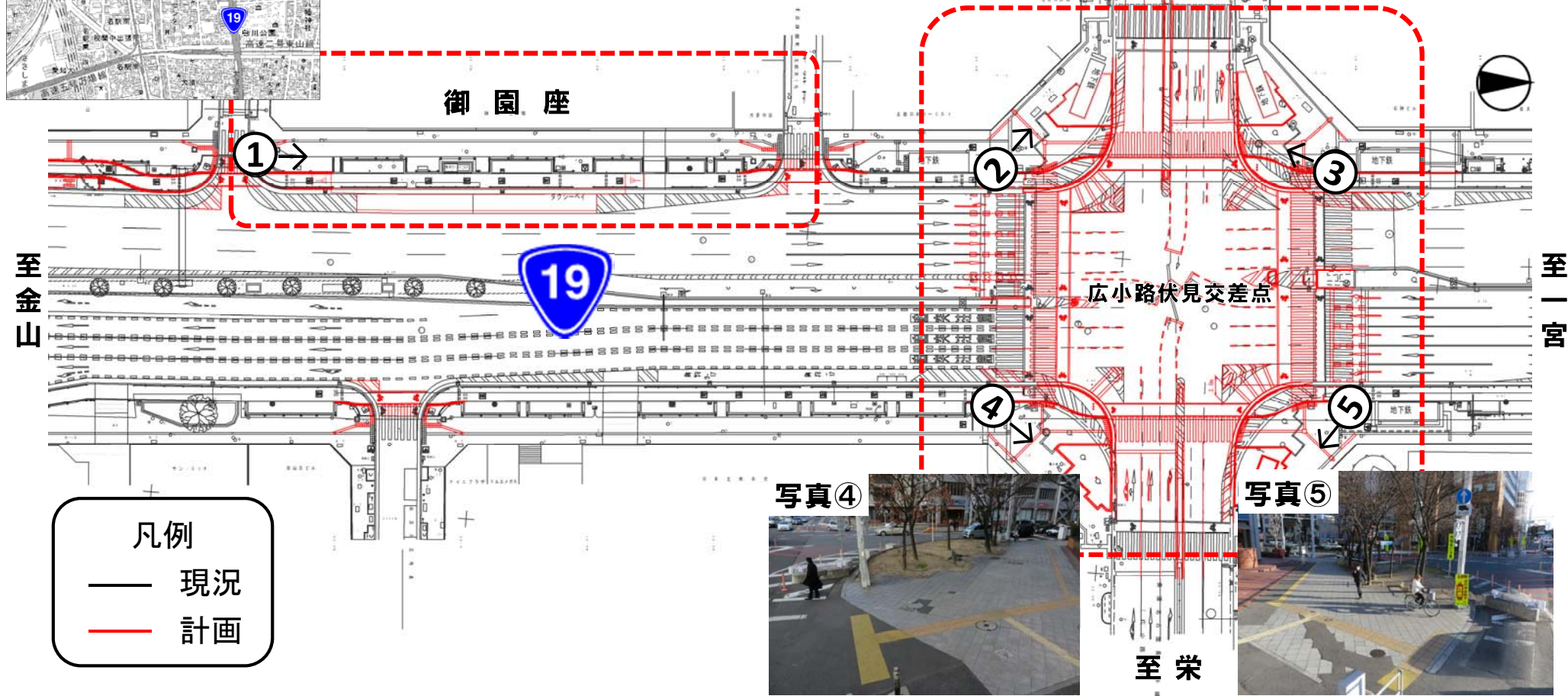
8. 取材 ・WSの取材は、本日の議事確認及び冒頭の座長挨拶までとさせていただきます。
・WS終了後（12:00頃）、会場にて取材をお受けします。
別添資料-4により取材登録をお願いします。

9. 問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所
副所長 石垣 政彦（いしがき まさひこ）
管理第一課長 中根 裕樹（なかね ひろき）
TEL：052-853-7324 FAX：052-841-2517

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

検討事項

1. 広小路伏見交差点コンパクト化後の歩道空間活用。
2. 地下鉄利用者の道路利用上の課題への対応。
3. 御園座周辺の道路整備のあり方。



広小路伏見交差点にぎわいの創出WS 会場案内図

会場： サテライト名古屋 会議室
(住所： 名古屋市中区栄三丁目9番21号)



広小路伏見交差点にぎわいの創出WS 取材登録書

3月9日(木)の「広小路伏見交差点にぎわいの創出WS」について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前に登録をお願い致します。

FAX 送信期限 : 3月7日(火) 13:00 まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等

(1) ご氏名 _____

ご氏名 _____

ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

3. WS終了後の取材の希望

有り ・ 無し

4. 送信先 (FAX) 052-841-2517

5. 問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所
副所長 石垣 政彦 (いしがき まさひこ)
管理第一課長 中根 裕樹 (なかね ひろき)
電話 (052) 853-7324

広小路伏見交差点にぎわい空間の創出WSメンバー

	組 織	役職・氏名
有 識 者	中部大学 工学部 都市建設工学科	教授 服部 敦
地域代表	栄学区区政協力委員会（栄3丁目）	委 員 長
	広小路商店街振興組合（栄2丁目）	理 事 長
	広小路町内会	町内会長
	広小路中央商店街振興組合（栄1丁目）	理 事 長
	広小路中央町内会	町内会長
	御園商店街振興組合（栄1丁目）	理 事 長
	御園通町内会	町内会長
	御園学区区政協力委員会	委 員 長
企 業	NTTデータ伏見ビル	
	名神ビル	
	藤田ビル	
行 政	名古屋市	
	住宅都市局 都心まちづくり課	課 長
	交通企画課	課 長
	交通局 電車部 施設計画課	課 長
	中区役所 まちづくり推進室	室 長
	中土木事務所	所 長
	愛知県警察	
	中警察署 交通課	課長代理
	生活安全課	課長代理
※順不同		
事 務 局	国土交通省 名古屋国道事務所	

「広小路伏見交差点にぎわいの創出ワークショップ」

設立趣意書

国道19号と広小路通が交差する広小路伏見交差点は、交通事故多発箇所であるため交通事故対策を講じる必要があるとともに、歩道上では、交差点の四隅に地下鉄伏見駅の出入り口があることにより、狭小な歩道動線、バリアフリー化、自転車通行空間の活用促進といった課題を抱えています。

一方、地域においては、リニア中央新幹線（2027年開通予定）に関連する開発、御園座の再開発や納屋橋活性化プロジェクト等々の地域発展に欠かせないプロジェクトが進行する中、これまで実施されてきた対処療法的な交差点改良だけでは、地域発展との連携が十分とは言えず、まず地域がどのような方向を目指すべきか議論され、目指すべき地域像の共有化を図り、住民、地域、行政、企業等がそれぞれの役割を認識しつつ、新たなにぎわい空間の計画を立てることが望まれます。

このため、沿道の開発・構想と連携し、賑わいの創出・地域の活性化に必要な取り組みや価値（たまり空間、道路景観、歩行者の回遊性向上）の創出の可能性について、幅広い意見を交わしながら、賑わい空間の実現につなげていくため、本ワークショップを設立するものです。

平成28年6月

広小路伏見交差点にぎわいの創出ワークショップー同